



碧南ロータリークラブ週報

第2300回例会 平成18年2月1日(水)

●会長 岡田 勉 ●幹事 亀山 裕一 ●SAA 長田 豊治

■例会日 毎週水曜日 12:30 ■例会場 碧南商工会議所ホール

■事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL (0566) 41-1100 FAX (0566) 48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■会報委員 杉浦昌裕・角谷信二・清澤聡之・岡本明弘

超私の奉仕

2005～2008年度
国際ロータリーのテーマ



● 斉 唱

国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテスト唱和

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

R.I. 第2760地区

青少年交換委員会 副委員長 黒田勝基様



岡田勉会長



黒田勝基様

会 長 挨 拶

今日から2月に入りました。一年中で一番寒い時期になりました。本日は、少し暖かく雨になりましたが、今後、雨が降るたびに少しずつ暖くなるのではないかと思います。

さて、私の趣味であります将棋についてお話をしたいと思います。将棋には、種々な名言、格言があります。例えば一番位の低い「歩」でも次のような格言もあります。「一步千金」、「歩のない将棋は負け将棋」、「金底の歩、岩より堅し」、「成れば金、とれば歩」、一番位の低い「歩」でもその使い方により大変効果があること。また、一番位の低い「歩」でも大切に使用すれば良い結果が生まれるということです。また、作戦上で、「遊び駒を作るな」、「金なし将棋に受けてなし」、「敵の打ちたいところに打て」、「両取り逃げるべからず」、終盤になると「終盤は駒の損得より速度」という言葉があります。そして、私の一番気に入っている言葉は、「将棋に不思議の勝ちあり、不思議の負けなし」という言葉です。今日は将棋の話でありました。

幹 事 報 告

- ・先週開催されました第1回臨時理事会及び友好親善協会からのお知らせ等は、別紙幹事報告の通りです。
- ・地区大会の記録誌が届きましたので登録30名の方に本日配布させて頂きました。
- ・本日例会終了後201号室に於きまして第8回理事会を開催致します。役員・理事の方はご出席下さい。



亀山裕一幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 79 名（内出席免除者 15 名）出席者 65 名	
出席対象者 56/64名	出席率 87.50%
欠席者14名(病欠者0名)	前々回修正出席率 95.31%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

地区青少年交換委員会副委員長 黒田勝基様より ニコボックスに卓話のお礼を頂きました。

岡田 赳勇君 } 高浜クラブ会長黒田勝基君の来碧を歓迎します。
亀山 裕一君 }

杉浦 勝典君 本日の講師の先生をご紹介します。

〈親睦活動委員会〉

2月会員誕生日

4日 杉浦 昌裕君 5日 森田 雅也君
5日 新美 雅浩君 9日 石川八郎右衛門君
16日 平岩 辰之君 18日 植松 敏樹君
25日 杉浦昇一君（77才） 26日 伊藤 正幸君



喜寿を迎えられる杉浦昇一君

奥様誕生日

1日 中根佑治君の奥様 澄 恵様 5日 新美 雅浩君の奥様 美由紀様
15日 新美惣英君の奥様 直 美様 20日 石橋 嘉彦君の奥様 里 美様
21日 栗津良一君の奥様 千恵子様

結婚記念日

11日 平岩統一郎君・和恵様28年 11日 新美 宗和君・雅 代様26年
26日 榊原 健君・陽子様30年 28日 長田 銑司君・美代子様43年

入会記念日

4日 那波 宏志君

卓 話

「青少年交換プログラムについて」

R.I.第2760地区青少年交換委員会 副委員長 黒田勝基様



黒田勝基様

1. 青少年交換の歴史

- 私たちの未来を確保するためには各国のそれぞれの若者が高い道徳観を持った大人になることがきわめて重要である（青少年交換の考え）
- 初期段階は身体障害児童のための寄付集めと極貧児童への援助が中心
- 1927年デンマークのコペンハーゲンRCが、米国の留学生を受け入れたのが始まり（一方通行の留学がスタート）
- 1928年にはデンマークとアメリカの両国で61人の交換が始まる
- 1928年には300人の米国青少年が、『世界平和の巡礼者』としてスカンジナビアの家庭を、5週間のショートステイで訪問
- 1950年代以降、RYLA、インターアクト、ローターアクトなどの活動が世界的に展開
- 現在は15歳から19歳（出発時18歳）の青少年が、世界で7,000名の実績
- 日本の実績は、おおよそ年間350人前後
- 第2760地区では、年間13～14名程度が『若き親善大使』として交換

2.第2760地区の現状

・第2760地区の交換国

英 語 圏 米 国、カナダ・オーストラリア

非英語圏 欧州では、フランス・フィンランド・ドイツ、スイス

南米ではブラジル・ヴェネズエラ

アジアでは、韓国・台湾・タイランド等の12カ国と交換

・最大人員 15名（地区予算の関係）

・費 用 自己負担は、往復の飛行機代約30から40万円と現地での個人的費用
学校関係と食住に関してはロータリーが負担

・RC負担 学校にかかわる費用（授業料、交通費、学校衣服費等）と学生に対し毎月50
ドルから80ドルに相当する小遣い

・各種の留学システムでは、最も安全（ロータリアンがホストになる）で安いもの

・現在の第2760地区負担金は、全ロータリー会員1人当たり年間2100円で総額1,100万円程度

・青少年交換プログラムは、唯一ロータリアンの子息、関係者が参加できるプログラム

そもそもの発祥が、ロータリアンが他国の友人のロータリアンのところに自分の子供をある
程度長期間預けて、子供の世界観を醸成する目的から生まれたため

・交換が基本となるので派遣クラブは受入義務が生じる

1人受け入れるときのロータリークラブ自体の費用は年間50万円程度

3.2006～2007年度第2760地区の予定

・4月16日 地区協で2008～2009年度派遣学生のための募集要項発表

・7月末日 募集要項にしたがっての志願書の提出締切日

・8月5日(予定) 選考試験（英語の力を確認するため、筆記試験と英語での面接）

・8月12日前後 合否発表

・8月19日～ 1年間オリエンテーション実施（約10回）

申請書の書き方、受入学生・帰国学生との交流、日本についての歴史・経済・
文化などの勉強会、英会話・英語表現などの訓練、危機管理についての対処
法などを保護者を交えて1年間かけて教育する

派遣学生をだしたクラブは受入の義務を負っている。そのための受入学生用のオリエンテーショ
ンも適宜、受入学生、受入クラブ、ホストファミリーに対し行う。

4.現在の問題点

・セクハラと虐待問題の発生

オーストラリアの女子学生がベルギー留学時にセクハラ問題が発生し、2004年世界大会で、
本人がセクハラの実例を発表する

・R. I.が危機管理に対するガイドラインの策定要請（2006年7月1日から実施予定）

①ホストファミリー、および関係者の個人認証の明示（犯罪暦・職業暦等）

②プログラムの法人化の要請（訴訟に対する責任保険加入）

③危機管理委員会の設置の強要（メンバーの構成はロータリアン以外も入れる）

④危機管理ファンドの設置の要請

青少年交換プログラムは、本来、性善説にのっとり行ってきたが、このガイドライン設定
は根本からこれを覆すものであり、重大な危機に陥る可能性もある。

- 青少年交換プログラムの国別ブロックでガイドラインに対しての温度差
米国・カナダ／E E M A(ヨーロッパの旧グループ)／ブラジル(南米)／オーストラリア・
ニュージーランド／R I B I(英国とアイスランドのグループ)／アジアグループのうち米
国・カナダグループが非常に強行なガイドラインを要求(日本はE E M Aと同一歩調)
- 交換の機会の減少
留学希望の学生と、スポンサーになるクラブ・受入クラブが減っている
- 学生の資質の低下
米国から来ている学生の質が、相対的におちている
- ドラッグ問題、飲酒問題、SEX問題の国による法律を含めた差異
- 受入学校の資質と受け入れ態勢の不備
公立高校、日本語の特殊性、進学校、先生の対応等に不備がみられる

青少年交換プログラムは、その苦勞より、受けた楽しみ、感動はもっとさらに何倍かあります。
是非、皆さんも高校生を1年間受け入れる、その時の感動を味わって頂きたいと思います。
このプログラムへの積極的なご参加を宜しくお願い致します。

次回例会案内 平成18年2月15日(水)

卓話 「留学して良かった」

米山奨学生 金華氏